

チャレンジ&チェンジ 激変時代に対応し成長

西日本岡谷管栄会が総会

岡谷 鋼機
岡谷 マーケット

岡谷鋼機（本社・名古屋）に加え、2023年度の事業計画などを確認すると、好評を得ている。今回、観光やゴルフは、総会に先立ち広島県谷マート（本社・東京都江東区、社長・藤原伸氏）の関西以西の主要販売店と任入先で組織する「西日本岡谷管栄会」（会長・中島誠一郎氏・ナカシマ会長）は5日、J&R広島駅近くのホテルグランヴィア広島で第10回総会を開催した。19社26名が参



中島誠一郎会長あいさつ



第10回総会

同会では、歴史から学ぶ「音の瀬戸」を見学した。平安時代末期に平

清盛が日宋貿易のために切り開いた瀬戸内銀座と称される航路とそれにかかる真紅のアーチ橋の景観を楽しんだ。

その後、広島県江田島市にある海上自衛隊第1術科学校（旧海軍兵学校跡地）を訪ね、卒業式などの式典で使用する大講堂や赤レンガが象徴的な幹部候補生学校庁舎（旧海軍兵学校生徒館）など、映画・ドラマのセットでも使用されている建築物を見学し、ギリシャ神殿風建築物の教育参考館では、旧海軍の戦時資料や神風特攻隊員らの遺書などの展示を閲覧しながら平和についてそれぞれの思いを新たにしていた。



さらなる発展を誓って乾杯

協力に感謝の言葉を述べ、「チャレンジ&チェンジ」を掲げて、変化が激しい時代に対応し成長を続ける企業を目指していく。人手不足、物流など課題は山積しているが変化を恐れずお役に立てる存在となるよう頑張りたい」と述べた。

2019年度の事業・会計報告と休会期間中（2020、21年度）の事業・会計報告、2023年度の事業計画・予算案が審議されそれぞれ承認された。また、実施されていなかった役員改選についても審議され中島会長ほか全役員の留任も承認された。

議案審議に続き、賛助会員を代表しオーエヌ工業の江原泰道・営業本部部長から、概況説明として同社のステンレス鋳造の生産設備体制や、このほどリニューアルした拡張式継手「ナイスジョイントX」についての説明が行われた。

最後に幹事委員会として岡谷マートの藤原伸社長が「平成15年3月に誕生

状態となり4年ぶりの開催となったが初参加の方もおられ、うれしい限り。当会では日本の歴史を通して経営のヒントになればと、これまで近江商人のふるさとである近江八幡市や奈良の飛鳥、京都の宮津、伊勢などを訪れており、今回は海上自衛隊施設見学を企画させていただいた。私も何度か訪れているがそのたび胸が熱くなる。前回2019年はラグビーワールドカップアジア初開催の会場となるラオニアスタジアム神戸」を見学したが、現在、フランスの地で代表チームは熱戦を繰り広げている。ラグビーは、チームがあらゆる状況でも、同じ絵を見るために一人ひとりがプレーを立ててプレイしており、会社経営にも通じるものがある。我々も岡谷さんを起点にコミュニケーションを密にして「トライを挙げていきたい」と挨拶した。

続いて、岡谷鋼機の大井佳孝取締役大阪店長が挨拶に立ち、日頃の営業が「平成15年3月に誕生し、皆様からの協力のおかげで岡谷マートは今年設立20年の節目を迎えることができた。半導体関連や東京の大規模再開発、大阪のIRに向けた動きなど大型案件も控えており、皆様と力を合わせて実りを実感していきたい。皆様にとってなくてはならないビジネスパートナーとなるよう存在価値向上に努めていきたい」と業況を報告し閉会した。

総会終了後には、会場を移し懇親会も催され、同会計監査でもある八杉商店（本社・広島県福山市）の八杉陽一郎社長が乾杯の発声を行い開宴。和やかに歓談が行われる中、桃陽電線（本社・大阪市天王寺区）の黒田俊夫・大阪営業所所長が感勢よく三本締めを行い同会のさらなる発展を誓い合った。

翌6日は、広島県東広島市の広島カンツリー倶楽部八本松コースで有志らによる懇親ゴルフコンパも催され親睦を深めた。